



平和の大切さ 命の大切さを考える機会にしましょう!

心豊かに 助け合う子ども

○ 今から75年前、全国各地の都市が空襲で焼け野原になっている太平洋戦争末期の7月6日～7日にかけて、アメリカ軍爆撃機 B-29 に甲府市を中心とした都市が空襲の被害を受けました。「甲府空襲」または「たなばた空襲」とも呼ばれます。



例年、この時期に合わせ、中道地区文化協会の方に話をしていただくなど、全校で平和集会を行って、子どもたちに平和の尊さ、命の大切さについて感じる機会を設けていました。今年は、実施できませんでしたが、集会がなくても「平和・命の大切さ」について考えることはとても大切です。

○ 甲府空襲について調べてみましたら、「柏村（旧中道町）では、平岡・一里塚・宮下等で17戸（うち寺院2）、中村1戸、計18戸を全焼、死者3名を出した。」という記録がありました。現在でも、世界の紛争地域では、学校に通えない、通えるとしても危険を感じながら登校しているというところもあります。過去のこと、他人事と思うかもしれませんが・・・果たしてそうでしょうか？

○ マザーテレサが「世界が平和になるためにはどうしたらよいですか？」と聞かれた時に、「隣の人を大切にしてください」と答えたそうです。つまり、皆さんがまずはクラスの友だちを大切に、仲良くすることが、中道南小→山梨県→日本→世界が平和な世の中になるということです。



○ 平和集会はできませんでしたが、「平和について考えてもらいたい」という願いから、地域の千野さんが資料を貸してくださいました。（右上の写真）1階廊下中央、正面玄関を入れて目の前に展示しました。

今年も七夕集会を行いました!

○ 7月8日（水）校庭で行う予定でした七夕集会は、雨天のためTV放送で「七夕クイズ」を実施しました。各教室をまわりましたが、どのクラスも元気にクイズに答えていました。また、事前に東・正面・西玄関に七夕飾り用の竹が設置され、3日までに短冊に願いを書いて飾りました。「将来の夢」「健康」「勉強」「遊び」「家族」のことについて書かれたものが多く、中には「コロナが早く終息しますように!」といったものもありました。

○「願いとか夢はどうやったらかないますか?」と聞かれたある有名人が「願いや夢がかなうまであきらめないこと」と答えたそうです。皆さんもぜひ、『願いや夢』で終わらせないでもらえたらうれしいです。



放送室



6年教室テレビ



2年教室



1年教室



5年教室



3年教室



4年教室



正面玄関



西玄関



東玄関

授業参観・学年懇談会・専門部会へのご参加、ありがとうございました。

○ 7月10日（金）には、お忙しい中、授業参観（学校開放）・学年懇談会・専門部会、全ご家庭の方にご参加いただきありがとうございました。1学期最初で最後の授業参観になりました。保護者の皆様のご家庭で支えていただいているおかげで、子どもたちも元気に登校しております。修学旅行、林間学校への対応等の話の関係で5・6年生の保護者の皆様へのご挨拶になりましたことをご了承ください。1学期の登校日は、あと11日。

2学期の修学旅行・林間学校・運動会など、無事に実施できますよう今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



